



東日本大震災避難者に安心と絆ある生活を支える場を！

拠点づくりへご支援・ご協力のお願い

<http://hiroshimahinanshanokai-asuchika.com>

避難者が元気に明日へすすんでいけるよう、

常設の交流スペース開設にご理解とご協力をお願いいたします。

避難者に「明日へすすむ力」を——その思いにより、ひろしま避難者の会「アスチカ」は設立されました。

私たちは2012年春から、**避難者の孤立を防ぎ、情報を共有するため**に避難者同士の**ネットワークづくり**をしてきました。そうする中で、避難者の生活や将来へのさまざまな不安や悩みが聞こえてきました。そこで同年10月、その不安や悩みを共有し、避難者同士のつながりと広島の方たちとのつながりの中でそれらを解決しながら、**避難者が次のステップへ踏み出す力**を蓄えることをサポートするために、当事者団体として **ひろしま避難者の会「アスチカ」**を設立しました。

2014年1月1日現在、アスチカには**115世帯322名**の避難者が登録しています。

設立からこれまでのアスチカの活動

- **毎月一回の交流カフェの開催**：さまざまな思いを吐露したり、同じ思いの仲間を見つけたりと交流を図ってきました。
- **学ぶ場づくり**：健康のこと、法律のことなど、避難者の関心の高い事柄に関して学ぶ場を設け、勉強を重ねてきました。
- **ホッとできる時間づくり**：不安や悩みを一時忘れて心と身体をリラックスさせる時間を作ってきました。
- **出張交流カフェの開催**：広島市以外の避難者が、同じ地域の避難者と出会うための場を自治体ごとにつくり始めています。
- **毎月一回の情報紙の発行**：すべての会員に同じ情報が共有されるよう、さまざまな情報をまとめ毎月一回郵送しています。

多様化する避難者の状況(※裏面参照)によりきめ細やかなサポートをするため、いつでもふらりと立ち寄れて、悩みを相談したり、思いを声にしたり、欲しい情報へアクセスできたりする、**常設の集いの場**を私たちは必要としています。そのような場があれば、避難者を気にかけてくださる**広島の方からの情報やつながり**も得やすくなるのでは**期待**しています。

～ 常設の交流スペースでやりたいこと ～

- ・ 避難者の拠りどころとなる拠点になる。
- ・ 生活、子育て、雇用、避難元の状況などの情報を集め、ここへ来れば避難者が必要とする情報にアクセスできる。
- ・ お子さんを預かり、お母さんが求職活動をしたり、ひとりリフレッシュしたりする時間を確保する。
- ・ 誰かと会いたいとき、おしゃべりしたいときにいつでも来れる場になる。
- ・ 広島の方と避難者の交流とつながりを持つ場になる。
- ・ 会員が作成した物品、広島県内の物品の委託販売の協力（雑貨・農作物・物産品など）

避難者の状況 ～ これまでと今 そして、これから

東日本大震災および東京電力福島第一原発事故の発生**当初**、わけのわからないまま、とにかく逃げてきた避難者は**日々生きることで精一杯**でした。持つものもとあえず広島にたどり着き、物資をはじめたくさんの支援を広島の方々にいただきました。その時の**心強さ**は大変**ありがたい**ものでした。現在、私たちは、震災や事故発生から**丸3年を目の前**にしています。3年の月日は経ちましたが、避難元の被災状況や復興状況は落ち着いているとは言えません。そして、月日と共に避難者の状況は、避難形態、家族間の意見のあり方、経済状況など、避難者それぞれに**細分化し、ますます多様化**しています。避難元へ帰ることを決めている人、迷い悩んでいる人、広島に着実に根を張ろうとしている人、将来の目指す形もさまざまで、それぞれに悩みも違います。しかし、私たちは**どのような道を選ぼうとも**、いつまでも避難者でいるわけにはいきません。物理的にも精神的にも**自立**していかなければなりません。しかし、その自立に向けての状況も避難者ひとりひとり全く違うのが現実です。

表1 広島県把握 避難者人数

	人数	%
岩手	24	4.9
宮城	116	23.5
福島	256	51.8
その他・不明	98	19.8
計	494	

(2013年12月現在)

表2 アスチカ会員世帯 避難元

	世帯数	%
岩手県	3	3%
宮城県	13	11%
福島県	58	50%
関東地方	41	36%

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	19	15.6%
大人のみ	13	11.3%
大人+子ども世帯	82	71.3%
(うち母子世帯)	37	32.2%

(不明 1世帯)

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くおります。

表4 アスチカ会員 年齢分布

	未就学	小学生	中学生	高校生	20代
人数	65	53	11	8	18

30代	40代	50代	60代	70代	80代
78	49	13	8	9	2

(不明8人)

表5 アスチカ会員 今後の予定

	世帯数	%
今住んでいる自治体へ定住	19	34.5
避難元ではないところへ移動	4	7.3
近いうちに避難元へ戻る	2	0.4
いずれ避難元へ戻る	2	3.6
決めていない	20	36.4
上記に当てはまらない	8	14.5

(アンケート回収数 55/115 世帯 2014.1.22 現在)

多様化する避難者の状況に**よりきめ細やかなサポートをするため**に、いつでもふらりと立ち寄れて、悩みを相談したり、思いを声にしたり、欲しい情報へアクセスできたりする、**常設の集いの場**を私たちは必要としています。そのような場があれば、避難者を気にかけてくださる**広島の方からの情報やつながり**も得やすくなるのでは**期待**しています。

避難者が元気に明日へすすんでいけるよう、**常設の交流スペース開設**にご理解とご協力をお願いいたします。